

一般廃棄物処理基本計画（案）に係るパブリックコメント（意見募集）の結果について

○意見募集期間 座間市：令和4年12月12日（月）～令和5年1月12日（木）まで 海老名市・綾瀬市・高座清掃施設組合：令和4年12月5日（月）～令和5年1月12日（木）まで

○提出意見数 座間市：11件 ※海老名市・綾瀬市・高座清掃施設組合においては意見数0件

No.	意見者	該当ページ	該当箇所	ご意見等	意見者提案改善案等	対応等（事務局案）
1	パブリックコメント	115	1.3 減量化・資源化の見込み （1）現状のまま推移した場合の将来ごみ排出量	資源化可能な品目で一番多い（16.7%を占める）プラスチック容器包装の混入許可基準を決め、それ以上を含む搬入物は搬入を認めない。 ※一定量のサンプルを取り計測する期間を定期的に設定して実施する。	意見	4.5 ごみの適正排出・再利用（Reuse:リユース）・再資源化（Recycle:リサイクル）の推進 （10）組合での受け入れ基準の見直し・周知（継続） ～（13）事業系ごみへの資源物混入に対する指導（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。
2	パブリックコメント	115	1.3 減量化・資源化の見込み （1）現状のまま推移した場合の将来ごみ排出量	特に座間市では、P78にあるように、資源化可能な紙類が2倍以上に増えており、イオンとの紙資源化ルートの確立もあるようだが、資源化可能な紙類を含む搬入物には処理手数料を増額する。	意見	5.2 収集・運搬計画 5.2.2 経済的手法などの検討・導入 （2）事業系ごみ処理料金の適宜見直し（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。
3	パブリックコメント	115	1.3 減量化・資源化の見込み （1）現状のまま推移した場合の将来ごみ排出量	資源化物としては2番目に多い厨芥類については、飼料化肥料化の費用よりも焼却費用の方が安価なために資源化されず搬入される要因ともなっていると考える。 計画案ではこれまで事業系ごみ処理料金の適宜見直しについて継続して協議を行ってきたとあるが、今回の計画において、厨芥類の飼料化肥料化を進める処理料金に改定（値上げ）すべきである。	意見	5.2 収集・運搬計画 5.2.2 経済的手法などの検討・導入 （2）事業系ごみ処理料金の適宜見直し（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。
4	パブリックコメント	150	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充	海老名市は有料化をしたためと思われるが、座間市の2倍の生ごみ処理機補助利用者数がある。座間市の計画として、200人を超える2022年度のバッグ式生ごみ堆肥化の実践者が継続できるよう、基材購入についても補助メニューに加える。	意見	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充 （2）生ごみの減量化・再資源化に向けた支援及び情報発信（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。
5	パブリックコメント	150	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充	座間市の計画として、生ごみ処理機補助金を支給した等の生ごみ堆肥を活用する市民農園を含めた耕作者のネットワークをつくり、生ごみの資源化を行う市民を増やし、同時に都市農地の維持に大勢の市民が関わる仕組みを作る。	意見	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充 （2）生ごみの減量化・再資源化に向けた支援及び情報発信（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。
6	パブリックコメント	19	第3章 ごみ処理基本計画 2 基本方針 図3.1.1 ごみ処理基本計画の施策体系図	P19に、「不燃物処理体制の見直し」とあり、内容については不明ですが、現在の新たな焼却炉では、以前の処理とは違い、不燃物も破碎して炉に入れるようになりました。爆発等の事故も増えているに加え、焼却不要な金属類を焼却することでCO2の発生を生じさせています。 特にリチウム電池等の小型家電、可燃物ではない金属類等、焼却炉での不燃物を減らすべきと考えます。	意見	現行のごみ処理体制において、リチウム電池等を含む小型家電や金属類は収集したのち、可能な限り分別しリサイクルしています。 今後も継続して実施します。
7	パブリックコメント	150	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充	粗大ごみの再生品の販売情報 インターネットで見える形に出来ないでしょうか。大きさ・品物の状態・販売価格・写真等を一定の書式で記載したものを公開するだけで十分かと思えます。	意見	4.4 ごみの発生・排出抑制（Reduce:リデュース）への支援拡充 （1）ごみの発生・排出抑制のための市民活動への支援（継続） に関する御意見として参考とさせていただきます。

No.	意見者	該当ページ	該当箇所	ご意見等	意見者提案改善案等	対応等（事務局案）
8	パブリックコメント	148	4.2 ごみ・環境情報の共有化	ごみを仕分ける仕組み 全てを完全に仕分けるのは大変なことなので、現行の小冊子「分別ガイド」の目次から検索できるようなシステム作り。「毛布」と入れると綿入りのものは「粗大ごみ」扱い、それ以外は「布」扱い等。品目は徐々に増やしていけば良いと思います。こんなソフトは、他の自治体でもやっているのではないのでしょうか。もしやっているのであれば、借りても良いのでは。	意見	スマートフォンで利用できる「座間市公式LINE」及び「さんあ〜る」というアプリで分別品目の検索が可能となっています。今後も継続して実施します。
9	パブリックコメント	148	4.2 ごみ・環境情報の共有化	回収地域毎の実態把握と公表 現在、海老名・綾瀬・座間で月次（？）に公表されている数値と同様な統計を取って定期的に発表し、対前年比も出す。トラック台数を0.5単位くらいでも良いと思います。地域に情報を戻して行かないと、改善は望めないと思います。改善プランの作成部隊をどうするか、考えさせられますが。	意見	座間市の広報紙「広報ざま」において毎月15日号の紙面で家庭から排出される燃やすごみの量及び対前年同月比、年間目標までの進捗状況などを掲載しています。今後も継続して実施します。
10	パブリックコメント	148	4.2 ごみ・環境情報の共有化	現行HP内容の見直し 現在検索している「資源物とごみの分け方・出し方」はここ数年で扱いが変わっているため整合性が取れなくなったものがあるのではないのでしょうか。再処理方法も改良されているでしょうから、今までは混入されると困ったものが前処理で除去できるようになったとか。 例えば、窓開き封筒の窓を紙素材にする企業が多くなりましたが、昔はセロハンが入っていた紙に回すことが出来なかったのですが、少量だったらどうなんでしょうか。また、小さなホッチキスの針が混入されても問題なく処理されるようになったのではないのでしょうか。CDやDVDのケースと同様にプラスチックの成形品の取扱いも変わっているのではないのでしょうか。 そんな観点からHPの内容を見直す必要があると思います。	意見	現行のHPへの掲載情報については、ごみの分別に関する制度の変更に合わせて、齟齬が無いように随時見直しを実施しています。今後も継続して実施します。
11	パブリックコメント	149	4.3 ごみの発生・排出を抑制するライフスタイルの普及・啓発活動の推進等	標語運動 今回の案の中で初めて気が付きました。燃えるゴミとして出している台所の野菜等のくずは「水を切る」という事。確かに水を含んだものは重さがあるので、水切りして出すべきでしょう。こんな事を標語にして習慣付けしないと、伝わらないと思います。自治会の集積所には「次の人のために指定された場所に置いて下さい」と書いてます。集積所の最後は、回収される方達なのです。だから一番最初の方が正しい場所に置いてくれば、回収時間は最短で行われるのです。この様な標語を掲げたり、他の自治会のやり方を紹介したり、回収する人の意見を聞いたりすることが改善につながるのではないのでしょうか。	意見	座間市では令和3年度に「はじめよう、おにぎり1個分のごみ減量」をスローガンに掲げ、市の広報誌「広報ざま」に掲載し、また「資源物とごみの出し方カレンダー」の全戸配布と併せてスローガンの周知チラシを配布するなど、ごみ減量化に対する市民意識啓発に努めてまいりました。今後も継続して取り組みます。